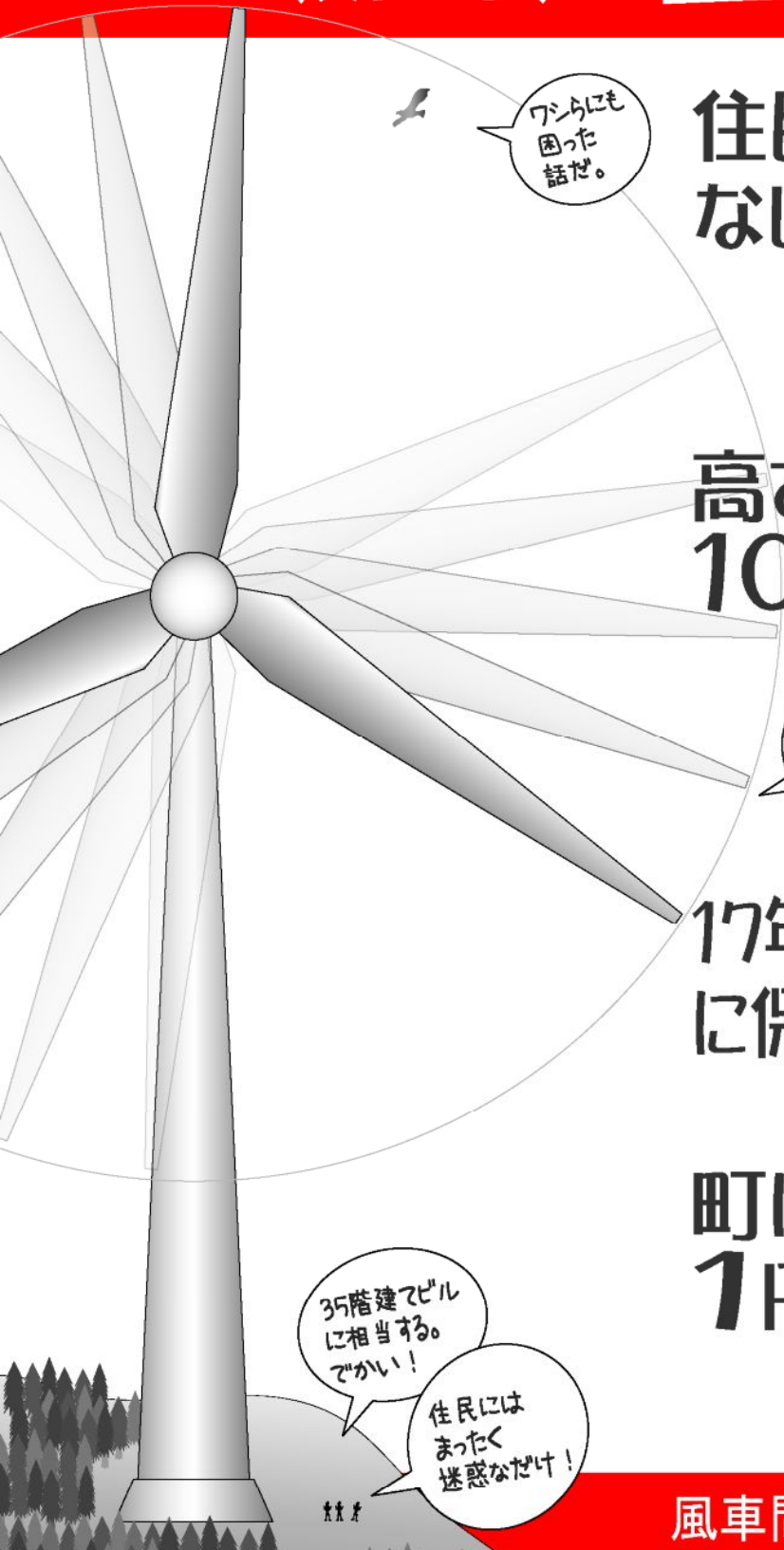


熱川の山上  
(天目地区)に

# 巨大風車が建ってしまう!?



ワシらにも  
困った  
話だ。

## 住民の意見が届かない心配な業者?

えっ?そんな、ほんと?...私たちが知らないうちに、計画は着々と進行しています。事業者はクリーン・エネルギー・ファクトリー(株)(北海道根室市梅ヶ枝町3丁目16番地1代表取締役鎌田宏之)、建設業者は青木あすなろ建設(株)、測量業者には地元業者が担当しています。こうした陣容で、既に環境アセスメントの縦覧を町役場で行ないましたが、それが不備であると県からの指導があり、環境影響評価書を作り直すという約束をさせられたところです。(10月13日現在)この事業者は全国各地で風力発電建設を強行し、周辺の住民と紛争が巻き起こっているなど問題の多い会社とされ、今後の交渉が心配です。

## 高さ123.5メートル 10基が立ち並ぶ!

現在町で運営している白田山上の風車3基は高さ60メートルですが、熱川天目山のものはその約2倍、出力は2.5倍で、航空障害灯、屋間標識灯の設置も義務付けられます。これが三井別荘地の西側の山に10基建てられようとしているのです。図書館の駐車場からは、ヘルスケア・マンションの左上に見えます。まるで工業地帯のような光景になろうかとしています。

先端の  
スピード  
200km!!

## 17年後の撤去は確実に保証されているの?

この建設計画は、町の防災マップで「大規模崩壊危険地域」に指定されているところに風車2基と建設道路が掛かっていることや、私達の飲み水になる白田川や濁川の上流に影響が無いとは断言できないこと、至近距離に住む住民には景観が損なわれるとともに騒音などの被害も予想されることなど問題が多いと言わざるを得ません。貴重な動植物の宝庫である豊かな緑の森を、11万平方メートルも伐採して本当にCO2削減に役立つのでしょうか。

最も心配なのは、耐用年数をまっとうした17年後に果たして撤去復元ができるのかどうか、ということです。もしも経営難で企業が放置すれば、残骸となって永久に見にくい姿をさらすことは容易に察しがつきます。風力発電はその名の通り「風まかせ」です。台風や雷の被害も十分予想されます。白田山上の3基も、故障が頻繁に起きたり、無風や強風に泣かされることが多いのです。クリーンではあっても、風力発電事業は不安定でリスクやデメリットが多いとされています。

## 町に売電収入は 1円も入らない!

民間所有地で民間企業が進める発電事業ですから、町には1円の売電収入もありません。「しかし風車の固定資産税が年間3000万円入る」と町当局は断言していますが、減価償却でだんだん目減りするはず。さらに耐用年数17年を過ぎた時、税金はおろか町のお荷物になるのは必至です。逮捕された前町長の構想だった三筋山の風力施設計画(25基)については、見直しするどころか住民に十分な説明もなく「地球環境のため」犠牲を強いる。これはおかしいと思いませんか?止めさせるのは住民の声です。一日も早く皆さんの声を上げましょう!

35階建てビル  
に相当する。  
でかい!

住民には  
まったく  
迷惑なだけ!

風車問題を考える住民の会

ホームページ [www.7a.biglobe.ne.jp/~yunami/](http://www.7a.biglobe.ne.jp/~yunami/) (一部工事中)

ご意見をお寄せください。 代表 藤井広明 TEL 95-3425  
Email: [yunami@mve.biglobe.ne.jp](mailto:yunami@mve.biglobe.ne.jp) 森山 直介 Email: [mori1115@ai.tnc.ne.jp](mailto:mori1115@ai.tnc.ne.jp)